

TAIYO TORYO

4-18, 6-Chome, Higashi-Kojiya, Ohta-ku, Tokyo, 〒144-0033, Japan



木材の生地を活かし腐食や変色を防ぐ塗膜形成型の木材保護塗料

多彩な特徴

- 長期の暴露に耐え木材の腐食、変色を防ぎます
- 一液タイプの塗料で、悪臭がなく、作業が楽です
- 水系で環境にやさしい塗料です
- 腐蝕菌や虫から木材を守り、木材の美観を長期間維持します
- 従来の木材防腐剤と異なり、薬剤と樹脂の相互作用で木材表面に塗膜を形成します
- 耐摩耗性、耐汚染性に優れた塗料です
- クリヤーの他にステイン色9色より選定が可能です



奈良県森林技術センターで開発された木製ハイブリッドカー“もっくん”にもウッドスキンコートが一役！

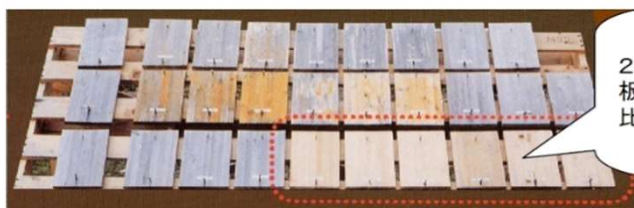
用途別にご選べます

- | | | | |
|------------------|---|-----------|------|
| ☆クリヤー仕上の1回目の塗装に | ⇒ | ウッドスキンコート | ST |
| ☆中塗及びツヤあり仕上の上塗りに | ⇒ | ウッドスキンコート | グロス |
| ☆ツヤ消し仕上時の上塗りに | ⇒ | ウッドスキンコート | マット |
| ☆木材の着色仕上に（9色） | ⇒ | ウッドスキンコート | ステイン |

千葉県の子倉で平成3年4月から
同5年7月まで暴露試験を実施！！



2年3ヵ月後



2年3ヵ月後、ウッドスキンコートを塗布した板（赤点線内）は、他社品を塗布した板に比べ、変色が極めて少ない。



平成16年に開催された浜名湖花博覧会の庭文化創造館の木材外壁にもウッドスキンコートが使用されました

各種ウツドスキンコートを組合せて内外装OK！！

| | 使用箇所 | 仕上状態 | 1回目 | 2回目 | サンディング | 3回目 | 4回目 | 5回目 |
|-----|----------|---------|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|
| 外装用 | 壁・梁・柱等 | 一般部ツヤ有り | ST | グロス | #400にてサンディング | グロス | — | — |
| | | 一般部ツヤ消し | | | | | マット | |
| | | 高耐久ツヤ有り | | | | | グロス | |
| | | 高耐久ツヤ消し | | | | | グロス | |
| 内装用 | 壁・梁・柱・天井 | 長耐久ツヤ消し | ST | グロス | #400にてサンディング | マット | — | — |
| | | 耐久性ツヤ有り | | ST | | グロス | グロス | |
| | 浴室の壁・天井 | 耐久性ツヤ消し | | ST | | グロス | グロス | |

※上記表の塗布量、希釈、乾燥時間等については下記の通りとします。

| | ST | グロス | マット | ステイン |
|-------------------------|------------|-------|-------|-------|
| 塗布量 (g/m ²) | 80～90 | 80～90 | 60～80 | 80～90 |
| 希 釈 (水) | なし | 0～5% | なし | なし |
| 乾燥時間 (20℃) | 2時間以上 (注4) | | | |

(注1) 着色仕上の場合は、1回目のSTの代りにステイン色をご使用ください。

(注2) 塗装にはDip (浸漬塗り) 以外は刷毛塗を基本とします
タンポ (布塗り) は、塗布量が少なくなりますので避けてください。

(注3) 各塗装仕様は一般的なもので、環境や使用材質により変化いたします。

(注4) 乾燥時間は温度や湿度により長くなり、生乾きの状態で塗装を重ねると白くなります。

(注5) 木材の種類によって塗料の吸い込みの程度が違います。
松材のように樹脂分の多い木材や、ジャラ材のように密度の高い木材は、塗料の浸透が悪いので避けてください。

(注6) 木材の含水率が高いとウツドスキンコートの浸透が妨げられます。含水率を20%以下 (平衡含水率といわれる15～16%が最適) にしてから塗装してください。

(注7) ウツドスキンコートを木材中に浸透させるためには、塗料をたっぷりハケに含ませて、吸い込ませるように塗布してください。塗布量が少ないと木材表面のみに被膜を作り、アンカー効果を生じさせません。その結果、ハガレの原因となります。

(注8) 木造構造物では、アク洗い、シミ抜き等のため、薬品処理を行う場合があります。処理に使用した薬品は十分に洗浄し乾燥させてから塗装してください。

(注9) ウツドスキンコートを金属面に塗装した場合、付着性が悪く、鉄等には構成成分が反応して変色するので、直接塗装は避けてください。

(注10) 塗替えの場合は、腐蝕面をサンディングで完全に除去してください。腐蝕部が残っていると塗膜の補足力が弱くなり、ハガレの原因となります。また旧塗膜がここっている箇所がある場合は付着性の確認が必要です。できるだけ旧塗膜を落としてください。もし薬剤処理をした場合は薬品を水洗いで完全に洗い落としてください。

(注11) 木口部は水分を大変吸い込む箇所です。木材中に余分の水分が侵入すると、気化する時に大きな圧力を生み出し、塗膜を押し上げハガレを生じます。水分の侵入を防ぐため、木口面は他の部分より塗装回数を増やして保護して下さい。
(注12) 塗装後1～2年経過しましたら、グロス (マット仕上げはグロス+マット) を1～2回塗布して下さい。また、その後は2～3年を目処に同様のメンテナンスが必要となります。

(注13) その他の注意事項

- ①乾燥しないうちに雨にあたると白化します。
- ②他の塗膜の上に塗装すると層間剝離を起こすことがありますので、このような場合はご相談ください。
- ③ハケには水系用ナイロンハケが最も適しています。
- ④5℃以下での塗装は避けてください。
- ⑤他の塗料との混合はできません。
- ⑥塗装用具の洗浄は乾燥しないうちに水で洗ってください。もし乾燥してしまった場合には、指定シンナーをご使用ください。

※本製品の内容は、予告なく変更することがあります。

| | |
|----------------|---|
| <p>《販売代理店》</p> | <p>《製造元》</p> <div style="text-align: center;">  <p>太洋塗料株式会社 TAIYO TORYO CO., LTD</p> </div> <p>〒144-0033 東京都大田区東糀谷6丁目4番18号 TEL : 03-3745-0111 FAX : 03-3743-9161</p> |
|----------------|---|